

(様式1)

校 種	小 ・ 中 どちらかに○	学校番号	4	学校名	宇都宮市立 築瀬小 学校
-----	-----------------	------	---	-----	--------------

令和4年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

思いやりの心と自ら学び、正しく判断できる力をもった、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

ア 自ら学ぶ子（知育）

自ら学び、自ら考え判断し、表現し、主体的に問題を解決する能力を養う。

イ 思いやりのある子（徳育）

他を思いやる心や感動する心など、豊かな心を養う。

ウ たくましい子（体育）

たくましく生きるための心身の健康と体力を養う。

2 学校経営の理念

学校教育目標に向け、家庭・地域の願いを踏まえ、児童と職員の共感、共汗、共歓を大切にするとともに、活気あふれる学校、やる気と自己有用感に満ちた児童、信頼される職員を目指すことにより、達成を図る。

3 学校経営の方針

〔旭地域学校園教育ビジョン〕

「地域に愛される旭っ子」の育成 ～地域との豊かななかかわりを通して～

(1) やなぜ3つの「共」

- ◇ 共感 ・ 児童の内面を共感的に受け止め、児童理解を深める。
・ 児童と共に、授業や学校行事などにおいて、感動を味わう
- ◇ 共汗 ・ 児童が考えや意見を出しながら、協働的に学ぶ。
・ 児童と共に、共遊や清掃などにおいて、運動したり働いたりする。
- ◇ 共歓 ・ 児童が自分を発揮する中で、互いのよさを認めながら育つ。
・ 児童と共に、学習や生活などにおいて、成長を歓ぶ。

(2) 目指す学校像、児童像、職員像

- ◇ 活気あふれる学校
 - ・ 校務分掌における取組や家庭・地域との連携を推進し、「教育目標」の具現化を図る。
 - ・ 創意ある提案や意見交換により組織力を強め、学校経営への参画意識を高める。
 - ・ 社会の変化に対応するため、新たなことに挑戦し、明るく前向きな職場をつくる。
- ◇ やる気と自己有用感に満ちた児童
 - ・ 児童の内面を共感的に受け止め、安心して生活できるよう、一人一人を大切にする。
 - ・ 児童が集団の中で自分を発揮し、他と協働しながら、一人一人と集団を育てる。
 - ・ 児童のよさや成長を見取り、認め伸ばす指導により、自己肯定感を高める。
- ◇ 信頼される職員
 - ・ 安全・安心な環境を整え、人権感覚を磨き、服務規律、業務の効率化を確保する。
 - ・ 家庭や地域の声を聞き、問題点を速やかに改善するなど、誠意ある対応をする。
 - ・ 情報を積極的に発信し、学校の姿、成果が見える化し、家庭、地域の理解を得る。

4 教育課程編成の方針

- ・ 国、県の法令や指針、市の推進計画、スタンダード、指導の重点などを踏まえ、学校経営方針に基づき、知・徳・体の調和のとれた教育活動を展開し、教育目標の達成を期する。
- ・ 社会の変化へ対応できるよう、教育活動相互の関連や地域の教育資源の活用などにより、知識及び技能、思考力・判断力、表現力等、学びに向かう力や人間性等を育成する。
- ・ 児童や学校経営に関する各種調査結果を、授業や学校経営の改善に生かし、教育活動の見直し、校内外の資源活用など、実態に即した創意ある教育課程の編成につなげる。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

(1) 学校運営

- 一人一人と集団を育てる教育の実践、組織力・同僚性による効率的な職務の遂行、家庭・地域と一体となった取組の推進などによる、活気のある信頼される学校づくり

(2) 学習指導

- 他者との関わり合いを通して協働的に学ぶ

(3) 児童生徒指導

- 基本的な生活習慣や判断力を身に付け、相手を思いやり、互いに協調しながら学校生活の向上に努める児童の育成と、自治的活動等を通じた望ましい集団づくりの推進

(4) 健康（体力・保健・食育・安全）

- 心身ともに健全で安全な生活を送るための資質・能力を備え、進んで健康・体力の向上を目指す児童の育成

6 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

将来に渡り学び続ける意義を理解し、他とのふれ合いを通して豊かな心を持ち、心身ともにたくましく粘り強く取り組む態度を育てる。

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

- ・ 読み聞かせ、読書タイムなどを通じた想像力や感性の育成
- ◇ 地域などで活躍する社会人による「夢授業」
- ・ 縦割り班での異学年交流による思いやりや感謝を育てる「ヤナゼフェスティバル」
- ・ ボランティアへの感謝の気持ちを伝える「ありがとうの会」
- ・ 健康や体力に関する自己目標の設定とカードを活用した自己評価
- ◇ 作物を大切にすることと勤労への意欲を育てる「農園活動」

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

① 基本的考え

教育目標の具現化に向け、学校・家庭・地域が当事者として関わる大切であることから、学校へのニーズに地域の支援により応え、学校を共に学び育つ場とする。

② 主な取組

- ・ 魅力協の各種ボランティアの得意分野や専門性を生かし、教育活動を充実する。
- ・ 地域の関係団体と連携し、児童が多様な交流や体験をする機会を確保する。

(2) 小中一貫教育・地域学校園

① 基本的考え

9年間を見通した取組を進め、一貫性のある指導及び円滑な接続を図ることが大切であることから、関係職員が協力して、組織的に教育活動に参画する。

② 主な取組

- ・ 学力向上、道徳性の育成、キャリア形成、体力増強などを意図的、計画的に行う。
- ・ 乗り入れ授業を実施しながら、中学校での学習や生活への期待を高める。

(3) 不登校対策

① 基本的考え

児童の特性や不登校の背景を把握し、多面的に関わる大切であることから、複数の職員で児童理解を深め、実情に応じた具体的目標を立てるなど、適切に支援する。

② 主な取組

- ・ 全職員が組織的に児童に関わり、内面や不登校の背景を読み取る。
- ・ ケース会議において、指導方針を共通理解し、短期的、長期的な見通しを共有する。
- ・ 児童の実情に応じて、別室登校などでの情緒の安定を図る。
- ・ 友人間のトラブルに対し、解消状況を丁寧に把握し、安定した学校生活を保障する。
- ・ 保護者へ学校の取組を伝え、共に支援するとともに、関係機関と連携する。

(4) G I G Aスクール構想

① 基本的な考え

情報活用能力、課題解決力を育てるため、端末を日常文具として活用することが大切であることから、年間を見通した段階的な目標を設定し、全職員が同一歩調で指導する。

② 主な取組

- ・ 授業の目標がよりよく達成できる活用場面を検討し、実践を通して計画に位置付ける。
- ・ 保護者に端末を活用した事例を紹介し、構想の趣旨や取組の実際を伝え、理解を得る。

(5) 宇都宮学

① 基本的な考え

郷土への愛情と誇りをもてる素地を養うことが大切であることから、集団への所属感、学校への愛着、地域への感謝など、身近な場面と関連した指導を行う。

② 主な取組

- ・ 児童指導や特別活動などを通して、自己存在感や連帯感を高める。
- ・ 地域の歴史や伝承などを活用したり、道徳地域教材と関連した指導をしたりする。
- ・ 宇都宮学と関連する地域の教育資源について、情報収集し、授業に生かす。